東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー
テーマ

奉仕を通じて
平和を

Vol.46　第2265回例会　2013.6.6

今年度会長テーマ　和で輪を広げ、前に進もう

■司会：
野澤例会運営
副委員長

■点鐘：野村副会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
荻野会員

■会長報告　野村副会長

皆様こんにちは。今日は中丸会長が、警察関係の講習を受けなければいけないとの事なので、私が会長代行と言う立場で、試運転のつもりで今日1日宜しくお願いします。
まず最初に、昨日開催された理事会の報告をさせていただきます。

第12回6月度理事・役員会
2013年6月5日（水）　18:30～19:30　於あづま

1．5月度収支明細報告については、承認されました。
2．次年度予算の件も承認いただきました。
3．高橋眞会員の退会の件
　大変残念ですが、今回退会届が提出されました。
　承認
4．6月27日夜間親睦移動例会の件
　リスボン国際大会出席者の帰国が29日の為。承認
以上が理事会の報告です。

第1回多摩分区連絡会の件
青梅ＲＣ主催で、かんぽの宿青梅にて、6月4日（火）実施されました。今年度の橋本ガバナー補佐の分区連絡会の進め方は、チェンジを意識して、従来の方式をやめて、参加した会員に有益であると思われる事のみ報告し、都度テーマを提示して議論する。

6月5日米山セミナーに参加して参りました。このセミナー報告は、委員長報告で、野村裕夫会員より報告があります。

都議選が6/14告示・6/23投票日となっています。北久保まさみち氏が自民党から立候補しています。当ホテルでは、現職都議の応援で、宿泊が入っています。

次年度事業計画書に記載する活動方針及び事業計画の提出完了しました。ご協力有難うございました。また、新旧委員長は引継ぎを必ずして下さい。必要があれば、次年度会長・幹事も参加いたします。

■幹事報告　赤木幹事

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／石山　敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　　FAX　042-395-1166

■インターアクト委員会：
2013～14年度第50回インターアクト年次大会開催の案内の受理
2013年8月4日(日)
於　浅草ビューホテル
・未提唱クラブの「協力金」¥30,000の依頼
（送付締切：次年度活動開始の7/10(水)）

■地区研修リーダー：
研修リーダー・チームからのお知らせとお願いについて
・情報教育の充実こそが会員減少に歯止めを掛ける大きな要素
・「国際ロータリーの席次」と「ロータリー寛容の精神」
・「ロータリーらしさ」

■社会奉仕委員会：
・2013～14年度地区社会奉仕委員会開催の案内の受理
6月13日(木)　15:00～17:00
於　ガバナー事務所
・クラブ社会奉仕委員長会議開催の案内の受理
2013年7月10日(水)　15:00～
於　ハイアットリージェシー東京
6月9日(日)　14:00～
於　国立オリンピック記念青少年総合センター

■ガバナー事務所：
規定審議会の報告会の案内の受理
6月28日(金)　16:00～
於　ホテルグランドパレス
クラブより1名の出席要請
「規定審議会の結果」を確認の事
(http://www.rotary.or.jp/2013-col/col.html
にて確認)

■出席報告　清水例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
31	25	0	2	92.59

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
■前々回出席率メークアップ修正後：92.31％
■前々会メークアップ者：
金子会員：理事会
村田会員：東京御茶の水ＲＣ
田中会員：東京東大和ＲＣ
山宮会員：東京立川ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理会員

■ご結婚祝月：
野村(高)会員
野村(裕)会員

■会員誕生祝月：
戸澤会員、飯田会員
清水会員

■令夫人誕生祝月：
飯田会員、中條会員

◆中丸会長、赤木幹事：
昨夜の「現・新」合同理事会大変お疲れ様でした。石山会員、本日の卓話楽しみにしています。
◆野澤会員：一昨日、東村山警察署長より交通安全活動功労により感謝状を頂きました。これからも交通安全活動に益々励みます。
◆山本会員：職業奉仕委員会の3分間スピーチ本日無事に完了いたします。1年間ご協力ありがとうございました。

本日のニコニコ合計：　32,000円
累　　計　：1,309,100円

■委員長報告

■小町会員研修副委員長

本年度最終月となりました。今月はロータリー親睦活動月間です。本日は石山クラブ管理委員長がこのテーマのもと卓話ですのでご期待ください。
さて、リスボン国際大会も真近です。日本とも長い歴史がある美しい国です。参加される方はきっと

思い出に残る旅になるでしょう。
　ロータリーの友、縦書きに世界のさまざまな親睦活動がP5より生きている証の記事として紹介されてます。ご一読ください。P17よりの日本から34全地区が出席して開催された規定審議会リポートで、国際ロータリーの立法案の議論がなされ、こんな形で決まっていくのだと是非お目通しください。
　縦書きP7より津軽の地から世界のがん医療を支えると題し、アメリカの医学博士スティーブン・Ｇ・シルバーバーグさんが津軽五所川原に住むことになったエピソードとロータリアンとの関わり合いがこころに響く内容で載ってます。P21友愛広場コーナー、厚木中ＲＣ会員より「これでいいのでしょうか」と題しロータリーの現実を見つめ直そうと力強いコメントが載ってます。そして表紙のメッセージ「ツタに覆われる杉林」美しいですが、日本の現代社会の風景をとらえた考えさせられる写真です。
　ロータリーの友はロータリアン必読の雑誌です。バッグの中にちょこっと入れておいてくださると幸いです。
　次年度会員研修委員会(中丸、山本パスト会長の3名)としてもロータリーの原点とは、そして現在、未来を考えた楽しく実のある勉強会を開催していく予定です。

■野村(裕)次年度
　米山奨学会委員長

　こんにちは。昨日、ハイアットリージェンシー東京で次年度米山奨学会のセミナーがありました。地区副委員長の野崎会員が主催側にいてやっていただいているのですが、次期会長の野村(高)会員と私とで参加してきました。
　4月に地区協議会の米山奨学会部門でいろいろとレクチャーを受けましたが、今回もその内容を再度徹底した進め方で、参加した自分が洗脳を受けました。特に委員長の役割と寄付の現状説明、増額の必要性について、事務局長の坂下博康氏が、良く通る声でやさしく、しっかりと解りやすく説明してくれました。
　その後、1グループ6～7人で9グループに分かれて「寄付金を増やすには」というテーマで討論し、最後に発表しました。いやいやながら寄付するというのが現状ですが、米山奨学の意義をよく理解してもらい、自発的に寄付する環境作りが大事だと結論づけられました。私も同じようなことを考えており、やはり強制的にやっても反感を買うので、こういう例会などで勉強しながら、納得しながら寄付をする形で増やしていけたらいいなと思いました。
　最後に考えると、米山奨学会委員長に一番ふさわしくない人間が委員長になってしまったという忸怩(じくじ)たる思いがありました。これから先、10月に米山奨学会月間などもありますので、皆さんと一緒に考えながらやっていきたいと思います。

■歩こう会　相羽会員

　皆さん、こんにちは。歩こう会では今回、御岳山に行ってきますが、いよいよ明後日の土曜日になります。少し天気が心配ではありますが、なんとか晴れてほしいなと思っております。
　東村山駅にＡM7:45に集まって頂いて、ＡM7:54の電車で行きたいと思います。そして武蔵大和駅から乗車される方たちと小川駅で合流となりますので、よろしくお願い致します。
　東村山から乗車される方は樺澤さんご夫妻、戸澤さんご夫妻(戸澤さん本人は腰痛のため今のところ欠席予定)、中丸会長、荻野さん、田中さんです。武蔵大和から乗車される方は、小町ご夫妻、野澤ご夫妻、野村ご夫妻となっていますので、ＡM7:46発の電車に乗って頂ければと思います。合計14名(戸澤さん含め15名)の参加の予定です。
　話は変わりますが、三菱東京ＵＦＪ銀行所沢支店主催で、本日ＰM3:00から入間市の産業文化センターにおいて宇宙飛行士の山崎直子さんの講演があります。無料ですので、興味のある方は行ってみてはどうかと思い、ご案内させて頂きました。以上です。

■３分間スピーチ

■山本会員

　皆さん、こんにちは。今年1年間ご協力頂きまして、本当にありがとうございました。欠席やその他、諸事情による無理な変更などありましたが、皆さん快く引き受けて頂き、大変スムーズに運営することができました。職業奉仕委員会の3分間スピーチを、本日の私の話を持ちまして無事に終えることができますことを心より感謝致し御礼申し上げます。
　皆さん、3分間スピーチはいかがでしたか？
　3分間という短い限られた時間内で、自分の考え、意見、感想を人に伝えるという難しさを感じて頂く事が出来ましたでしょうか？人間はだらだらとした長い話は、ほとんど記憶に残らないそうです。この3分間スピーチの技法を是非これからの皆様のスピーチに役立てて頂き、話の達人を目指して頂ければ大変にうれしく思いますし、大成功だと考えております。
　また、今回の3分間スピーチの皆様が発表して頂いた話の内容は、ロータリークラブの大事な一つの柱である職業奉仕に因んで自分の職業について話してくださった方も居、また自分自身の人生の中で友人、先輩、妻、お世話になった方々のお話、これらの話は人対人の心の中で通い合う、別の意味での心の職業奉仕ではないでしょうかと私は感じました。普段はなかなか伺えない人生の貴重な体験談と、個人個人にて違う人生観の

大変に貴重な多くのお話をたくさん頂きましたことに心より感謝申し上げます。
　さて、今回1年をかけて順番に皆様に話して頂きました貴重なお話は、職業奉仕委員会として小冊子に記録として残し、皆様にお配りしたいと考えておりますので、お手元に届きましたら是非、メンバー諸兄の話をご一読頂きたいと思います。7月上旬には皆様のお手元に届くよう準備したいと思います。
　最後に結び言葉として、今回作成致しますロータリーメンバー30人の貴重な話を集めた小冊子をぜひご活用頂くことをお願い致しまして、本日の私の3分間スピーチを終わらせて頂きたいと思います。
　皆様の1年間のご協力を心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

■卓話

■卓話者紹介：
　相羽プログラム委員長

　本日の卓話は「ロータリー親睦活動月間に因んで」ということで、石山クラブ管理委員長に卓話をして頂きます。ロータリーには毎月、いろんな月間がありまして、今回が今年度最後の月間になりますので、石山委員長よろしくお願い致します。

■卓話者：
　石山クラブ管理委員長

ロータリー親睦活動月間に因んで

　皆さん、こんにちは。今月はロータリー親睦活動月間ということで、クラブ管理(親睦)委員長の私がお話をさせて頂きます。ロータリーの深いお話をするのは今回が初めてで、何を話したらよいかよくわからなかったのですが、ネットで調べて自分なりに理解したことをお話しさせて頂きます。
　まず、ロータリーの特別月間について説明させていただきます。ロータリーの特別月間とは、クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー(ＲＩ)理事会が指定した月間のことです。

「8月　会員増強および拡大月間」
　会員増強には、内部拡大、外部拡大の2つがあります。内部拡大は、クラブの区域内で得られている適格な職業分類の代表者に入会してもらい、クラブの会員数を増やすことです。外部拡大とは、ロータリークラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増やす活動です。

「9月　新世代のための月間」
　1996-97年度から、従来の「青少年活動月間」の名称が変わり、「新世代のための月間」となりました。年齢30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に焦点を当てる月間です。

「10月　職業奉仕月間」
　ＲＩ理事会では、一人ひとりのロータリアンだけでなく、クラブも職業奉仕の理想を日常実践するよう強調するために、特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行うよう、奨励しています。

「11月　ロータリー財団月間」
　ＲＩ理事会と管理委員会は、毎年11月はこの月間を遵守すること、月間中、クラブは少なくとも一つのクラブ・プログラムを財団のために実施することを決定しました。

「12月　家族月間」
　1995-96年度ハーバード・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして1995年11月のＲＩ理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2003年同理事会において、2003-04年度ジョナサン・マジィアベ会長が家族の重要性を主眼にしたことを称え、12月を「家族月間」と指定しました。これに伴って「家族週間」は廃止されました。

「1月　ロータリー理解推進月間」
　会長にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間です。

「2月　世界理解月間」
　1905年2月23日は、ポール・ハリス、ガスターバス・ルーア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレ―の4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。よって2月は「世界理解月間」と指定されています。この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。

「3月　識字率向上月間」
　識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項です。地域社会で読み書きを向上させるプロジェクトを支援します。

「4月　雑誌月間』
　ＲＩの公式機関誌「ザ・ロータリアン」および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌(「ロータリーの友」など)に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

そして今月の**「6月　ロータリー親睦活動月間」**
　「ロータリー親睦活動」は、国際奉仕の一部門です。現在、約100近い親睦グループがあり、趣味や職業活動を通じて、国際親善と奉仕に貢献しています。ガバナーは、地区に地区親睦委員会を設置するよう奨励されています。より多くのロータリアンが、親睦活動に参加することを奨励するために、この月間が設けられました。
　日本だけ特別に「10月　米山月間」があります。日本独自の強調月間です。クラブはこの月に特に米山奨学事

業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をします。
ここで、世界のロータリー親睦活動についてお話しします。「ロータリー親睦活動グループ」とは、ロータリアンとその配偶者、またローターアクターから成る以下のようなグループです。
・価値あるレクリエーション活動(スポーツ、趣味など)に共通の関心を持つ
・自分と同じ職業を持つ人々との交流を通じて、職業能力を向上させる
・世界中で新しい友人をつくる
・新しい奉仕の機会を探求する
・ロータリーでの活動を楽しみ、充実した経験をする
　世界のロータリアンと親睦を図るには、まずは英語がしゃべれないといけません。残念ながら日本人はあまり得意ではないのですが、英語が話せて世界をまたいで親睦活動ができると楽しいかもしれません。

　次にネットからの資料を読ませていただきます。
《ロータリーの二本柱として、ほとんどのロータリアンは「親睦と奉仕」をあげます。親睦と奉仕がロータリーライフを支える二本の大きな柱であることは、疑いのない事実です。親睦が失われればクラブは崩壊するだろうし、奉仕こそロータリー運動の目的であります。
　1923-24年度ＲＩ会長のガイ・ガンディーカーは次のように述べています。「しばしば、ロータリアンで親睦を図ることが、ロータリー運動の全てであるように誤解される。また、ゆるぎない親睦こそ、ロータリーが存続する絶対条件だと考えているクラブもある。しかし、これらの二つの立場からの判断には、明らかに批判の余地がある。親睦はロータリー運動そのものではなく、ロータリーという植物が根をはり、成長するためにどうしても必要な、最上の土壌なのである」
　親睦を図りたければ、誰にだって無限の機会があります。気の合った仲間とゴルフや旅行に行くもよいし、カラオケやバーだって親睦を図ることができるでしょう。一業一会員だなんていわなくても、同業者同士でも充分親睦は図れます。
　ロータリーはあえて親睦と奉仕の解釈を、世間一般の人たちが考える解釈と異なる次元においています。ロータリーが定義する親睦と奉仕は、いかなる辞書を引いても正しい解釈が活字化されていないロータリー独自の概念であり、さらにそれを正しく理解しない限り、ロータリー思想の原理を語ることはできないのです。
　Fellowshipを「親睦」と訳したことにも問題があるでしょう。むしろ、「友情」とか「友愛」と訳すほうが理解しやすいかもしれません。ちなみに米山梅吉がポール・ハリスのThis Rotarian Ageを翻訳するにあたって、その書名を「ロータリーの理想と友愛」としたのは、理想＝奉仕、友愛＝親睦を意味するものであり、戦前のクラブ組織表では、親睦委員会の代わりに友愛委員会の名称が使われています。
　ロータリーが考える親睦にはどんな意味を持っているのでしょうか。あえて結論を先に述べれば、「親睦」とはロータリー思想が形成され、成長する過程において導き出された概念であって、奉仕の心を作り出すための例会における諸活動のことを指すのです。》

　次に、野澤先生からいただいた資料を読みます。野澤先生、貴重な資料ありがとうございます。
《Fellowship　親睦とはゴルフ、旅行、同好会、食事会等と解釈している方が多いようですが、ロータリーでいう本来の親睦とは友情、友愛です。絆でもよいでしょう。・・・米山梅吉語録・・・クラブや会員がゴルフや食事会を、またいろいろな同好会を作り楽しむこと、このことが親睦の目的だと理解しているメンバーが多いですが、これは誤解です。親睦とは、あくまで友情、友愛を深めること、これが親睦の目的なのです。従って、ゴルフ、旅行、また食事会等大いに結構ですが、これは友情、友愛、絆を深めるための手段なのであります。ではこの親睦の目的を達成するために手段である旅行やゴルフをたくさんやれば目的は達成されるのでしょうか、いやそうではありません。数を多くすることも大切ですが、合わせて質も考慮しなければ本来の絆は深まりません。では質の良いゴルフや旅行、その他の活動をたくさんすれば親睦の目的は果たせるのでしょうか。いや、そうではありません。では、言い換えればこの友情、友愛、絆はこれでできたという結論はありますか、いわゆる友情、友愛、絆とは量や長さでは計りえないものなのです。計るとすればその一人一人の考え方なのです。ロータリー運動が奉仕の理想を追い続け、終点(ゴール)のない活動(マラソン)を続けるのと同じように、この本来の親睦である友情や友愛にも限りはありません。オーバーな言い方をすれば永遠なのです。ですからロータリーは何事においても〈あなた自身〉なのであります。〈あなた自身〉がどう受け止め、それをどう咀嚼(そしゃく)して人に社会に奉仕するか与えるか、それが理解できて初めて真のロータリアンとなる。ロータリーでは親睦と奉仕は車の両輪です、二点セットです、親睦を通して友情が深まり、絆が強くなることは当然ですが、これだけが目的であればロータリーに入会しなくても他の親睦団体がたくさんありますのでどの団体でも達成できるものです。しかし、ロータリーは違います。ロータリーは親睦と奉仕は切っても切り離すことができない相関関係にあるのです。ロータリー研究の第一人者小堀憲助さんは次のように言っています。ロータリーにあっては奉仕化家は先に奉仕のギアを回してはならない、まず親睦のギアを回してその動力を奉仕のギアに伝えなければなりません。従って親睦だけやる、奉仕だけやるのは他の団体と何ら変わるものではありません。
　また親睦と奉仕をトラックに例えれば、親睦は車のエンジンであり、奉仕は後ろの荷台であります。先程言いましたフェローシップというエンジンを強力に回し、もって沢山の奉仕という荷物を積んで、ひたすら走る、走る、どこまでも〈奉仕の理想〉を求めて、なのであります。沢山の奉仕を積み込んでもエンジンがかからないことには実行することはできません。そしてロータリーはこの二点セットで個々の品格を高め、高められた倫理道徳を携え次のステップである〈社会奉仕〉〈国際奉仕〉へと移行していくわけであります。従ってロータリーでいう〈奉仕の理想〉は、この〈親睦と奉仕〉より始まり、四大奉仕が達成されてこそ初めてロータリアンとしての資質が備わるのであります。》

　最後に親睦委員長として1年間やってきたことを振り返りたいと思います。実際、ゴルフ部や歩こう会というのも親睦の一つですが、私自身ゴルフの方には何回か出席させて頂いているのですが、歩こう会のほうには親睦委員長にもかかわらず一度も参加していないのが現状で、親睦とはすごく幅が広くて、委員長、副委員長と分担してやっていかないと一人だとうまくやりきれないな、と一年間やってみて感じました。
　まず当会では8月25日　2227例会(家族親睦移動例会)では、銀座のトラットリアマルタでマジックショーをやりました。東村山駅東口から銀座まで東京交通さんにバスを出して頂き、事務局、広沢さんも入れて30名で行ってきました。この日は中丸会長の奥様の誕生日で、奥様にも喜んで頂けたと思います。赤木幹事のお嬢様

にお手伝い頂いたマジックでは、ペットボトルにトランプカードが入って驚きましたが、まだそのペットボトルは大事にされていらっしゃるようです。

12月15日　2243例会(家族親睦クリスマス例会)は30名の参加で立川のジェーシージェームスというジャズバーで行いました。私はサンタの衣装で中條会員はトナカイの帽子をかぶり、ジャズの演奏を聴きながら楽しく過ごしました。この時も野村(裕)会員の奥様のお誕生日で、奇遇ですね、喜んで頂いたのではないかと思います。

しかしながら効果測定は難しく、楽しかったかどうか、親睦が深まったかどうかなどのアンケートがとれればよかったのでしょうが、なかなか取り組めなかったのは残念です。

2月19～21日　2251例会(沖縄地区大会並びに家族親睦旅行)は24名で参加しました。沖縄は暑かったのと、朝早くから夜遅くまで、行程も忙しかったり、移動が大変だったりと皆さんお疲れのご様子でしたが、沖縄での地区大会の開催は7年に1回しかなく、たまにしか行けないところで親睦も深まり、よかったなと思います。

6月27日　2268例会は、移動例会になります。副委員長の荻野さんにお任せしておりますが、これを今年度最後の親睦委員会の締めとして大いに盛り上げ、楽しんでいただきたいと思っております。本当は夜間の炉辺会合などもできればいいのでしょうが、なかなか皆さんもお忙しいと思いますので、次年度の企画も含めて田中次年度委員長にも何かアドバイスができたらと考えています。

またクラブ管理委員会では週報を担当しているのですが、1年間私の考えとしては、いいものが仕上がったのではないか思っております。

ニコニコＢＯＸの方は、おかげ様で今日、130万円の予算を達成しました。皆様、ご協力ありがとうございました。ここでさらにお願いです。ニコニコの予算は達成したのですが、今年度あと3回例会がありまして、積み上げておいていただけると繰越金として次年度にスライドされるので、次年度のためにもあと3回の例会でもぜひご協力頂きたいと思います。次年度も同額で予算を組みましたのでよろしくお願い致します。

今月号の「ロータリーの友」に親睦活動月間ということで詳しく書いてありますので、読んでおいてください。私も入会して6年、ロータリーの月間についてやっと少しずつ分かりかけてきた段階です。次年度は幹事ということで、野崎一重さんに「若いから、年次が浅いから知らない、というのは通用しないよ」とアドバイスを受けました。幹事になるからには、もっとちゃんと勉強して、広く浅くでもいいからいろんなことを吸収しなくてはいけないのかなと思っています。

今年度もあと1か月弱で終わりますが、この1か月は親睦月間です。皆さんで大いに盛り上がって親睦を深めて頂いて、次年度に上昇ムードで移行できたらいいなと思います。あと1か月、集大成ということで、皆様のご協力、よろしくお願い致します。

■点鐘：野村副会長